志賀櫻『タックス・ヘイブンを逃げていく税金』岩波新書 2013年

① 目次

- 序章
- 第1章 タックス・ヘイブンは何か
- 第2章 逃げる富裕層
- 第3章 逃がす企業
- 第4章 黒い資金の洗浄装置
- 第5章 連続して襲来する金融危機
- 第6章 対抗策の模索
- 終章 税金は誰のためのものか
- あとがき

② 著者紹介

志賀櫻(しが さくら) 東京大学法学部卒業、弁護士 (1949～2015)

1971年 東京大学法学部卒業後、大蔵省に入省。以降、外務省参事官やOECD租税委員会日本代表を歴任。2005年に弁護士登録。2010年に國學院大學法科大学院客員教授に就任。2015年没

専門 国際租税、税務訴訟、国際金融

著書 『タックス・イーター ―消えていく税金』岩波新書、2014

『日銀発金融危機』朝日新聞出版、2013

『詳解 国際租税法の理論と実務』民事法研究会、2011

『法的紛争処理の税務(下巻)第4版』(共編著)民事法研究会、2009 など

③ 選定理由

1. タックス・ヘイブンの目的について
2. タックス・ヘイブンはどこにあるのか
3. タックス・ヘイブンはいつから存在するのか
4. タックス・ヘイブンの仕組みについて考える
5. タックス・ヘイブンの規模の大きさについて考える
6. タックス・ヘイブンの影響について考える
7. 富裕層と貧困層の格差について考える
8. なぜもっと公にならないのか
9. なぜ捕まらないのか
10. 対策について考える